

## はじめに

検索の基本事項

## SEO の基礎

- SEO スターター ガイド
- Google 検索の仕組み
- 有用で信頼性の高い、ユーザー第一のコンテンツの作成
- SEO 業者の利用を検討する
- サイトの SEO 対策

検索に関するデベロッパー ガイド

Google にウェブサイトを表示する

生成 AI の利用に関するガイド

## クロールとインデックス登録

## ランキングと検索での見え方

## モニタリングとデバッグ

## サイト固有のガイド

ホーム &gt; Search Central &gt; Documentation

この情報は役に立ちましたか?

フィードバックを送信

## 検索について: デベロッパー ガイド

サイトのコンテンツを検索エンジンに検索されやすくすると、そのコンテンツを探しているユーザーに見つけてもらえる確率が高くなります。こうした調整は検索エンジン最適化 (SEO) と呼ばれます。サイトに関心を持ち、訪れるユーザーを増やすことがあります。逆に、Google 検索がページを正しく認識しなければ、検索結果に表示されず、サイトへのトラフィックは生まれません。

このガイドでは、デベロッパーがサイトを Google 検索に最適化する際に役立つ情報を紹介します。このガイドの内容を実施するだけでなく、サイトの **安全性**、**速度**、**あらゆるユーザーにとってのアクセシビリティ**を高め、**あらゆるデバイスに対応**できるようにしてください。

★ 技術面以外でお困りの場合は、[SEO スターター ガイド](#)をご覧ください。SEO スターター ガイドでは、コンテンツの作成方法など、SEO のその他の側面について解説しています。

## サイトが Google からどのように認識されているかを確認する

SEO を始めるにあたって、まず [URL 検査ツール](#) か [リッチリザルト テスト](#) で、あなたのサイトが Google からどのように認識されているかを確認してください。Google では、[ウェブクロール用の bot](#) である [Googlebot](#) が新しいページや更新されたページを見つけて Google インデックスに追加します。ウェブクロールについて詳しくは、[Google 検索の仕組み](#)についての記事をご覧ください。

テスト結果では、Google がブラウザに表示される内容のすべてを認識できるわけではありませんことに驚かれたかもしれません。たとえば以下の例の場合、Google は、ページ上に画像があることを認識できていません。これは、Google でサポートされていない JavaScript の機能がページで使用されているためです。

ユーザービュー Google ビュー

このページは、ユーザーからは以下のように見えています。ブラウザには、画像とテキストが表示されています。



## リンクを確認する

Googlebot は、リンクやサイトマップ、リダイレクトを取得して解析しながら URL 間を移動します。このとき、各 URL は、あなたのサイトから見える最初で最後の URL として扱われます。Googlebot がサイト上のすべての URL を認識できるようにするには、次のようにします。

- Google がクロールできるように `<a>` 要素を使用します。サイト上のすべてのページが、検出可能な別のページからのリンクでアクセスできることを確認します。参照リンクには、ターゲット ページに関連するテキストまたは alt 属性 (画像の場合) のいずれかが含まれるようにします。
- Googlebot がサイトをより合理的にクロールできるよう、[サイトマップを作成して送信](#)します。サイトマップとは、サイト上のページや動画などのファイルについての情報や、各ファイルの関係を伝えるファイルです。
- 1 つの HTML ページで構成される JavaScript アプリでは、各画面または個々のコンテンツの要素ごとに URL を設定します。

## JavaScript の使い方を確認する

Google も JavaScript を実行しますが、クローラーによるアクセスやレンダリングに対応するために、ページやアプリケーションを設計する際に考慮しなければならない点や制限事項がいくつかあります。詳しくは、[JavaScript SEO の基本](#) または [検索関連の JavaScript の問題を解決する](#)をご覧ください。

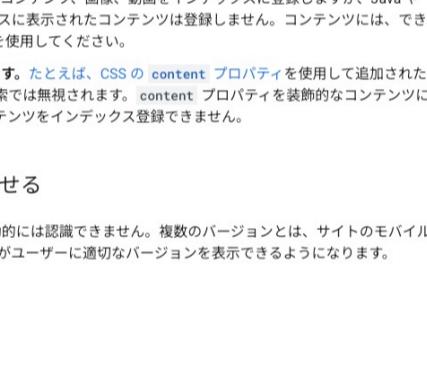
Google がクロール、レンダリング、インデックス登録を行う際の JavaScript の処理方法について詳しくは、次の動画をご覧ください。

## Google にコンテンツの変更を反映させる

Google が新しいページや更新されたページをすぐに検出できるようにするには、次の操作を行います。

- サイトマップを送信する
- URL の再クロールを Google にリクエストする

上記の操作を行ってもページがインデックスに登録されない場合は、エラーが発生していないかをサーバーのログで確認してください。



## ページの要素を文字で表現する

Googlebot が認識できるコンテンツは、文字で表現されているものに限られます。たとえば、動画のテキストを認識することはできません。Google 検索がページの内容を認識できるようにするには、次のようにします。

- ビジュアル コンテンツをテキスト形式で表現します。たとえば、シャツの画像一覧が掲載された商品カテゴリページに各画像の説明テキストがない場合、最適な結果は得られません。画像ごとに説明テキストを用意してください。
- すべてのページにわかりやすいタイトルとメタディスク립ションを設定します。固有のタイトルとメタディスク립ションは、Google がページの関連性をユーザーに示すために使われ、サイトへの検索トラフィックを増やすのに役立ちます。
- セマンティック HTML を使用します。Google は、HTML や PDF コンテンツ、画像、動画をインデックスに登録しますが、Java や Silverlight などのプラグインが必要とするコンテンツやキャンバスに表示されたコンテンツは登録しません。コンテンツには、できるだけプラグインではなくセマンティック HTML マークアップを使用してください。
- テキストコンテンツが DOM 内でアクセスできることを確認します。たとえば、CSS の `content` プロパティを使用して追加されたコンテンツは DOM に含まれないため、現在のところ Google 検索では無視されます。`content` プロパティを装飾的なコンテンツに使用しても問題ありませんが、Google 検索エンジンはそのコンテンツをインデックス登録できません。

## コンテンツの他のバージョンを Google に知らせる

Google は、サイトやコンテンツに複数のバージョンがあることを自動的には認識できません。複数のバージョンとは、サイトのモバイル版や PC 版、各言語版のこと指します。次のようにすると、Google がユーザーに適切なバージョンを表示できるようになります。

- 重複した URL を統合する
- サイトのローカライズ版について Google に知らせる
- AMP ページを検出できるようにする

## Google でクロールされるコンテンツを管理する

次のような方法で Googlebot をブロックできます。

- Google がページを見つけられないようブロックするには、コンテンツへのアクセスをログイン済みのユーザーだけに制限します (ログインページを使用したり、[ページをパスワードで保護](#)したりなど)。
- Googlebot がページをクロールできないようにブロックするには、[robots.txt を作成](#)します。

★ robots.txt は、Google にウェブページが表示されないようにするためにメカニズムではありません。Google にウェブページが表示されないようにするには、[noindex](#) robots ルールを使用するか、ページを [△スワードで保護](#)します。

- Google によるページのインデックス登録をブロックしながらクロールを許可するには、[noindex](#) タグを追加します。

★ 複数のクロールルールやインデックスルールを併用すると、一部のルールがその他のルールの妨げとなる可能性があります。このようなルールを適切に設定する方法については、[インデックス登録や表示のルールと、クロールの組み合わせ](#)をご覧ください。

Google 検索に表示されないコンテンツを表示させたい場合は、次の手順に沿って対応します。

- URL 検査ツールを使用して、Googlebot が問題のページにアクセスできるかどうかを確認します。
- robots.txt ファイルをテストして、Googlebot によるサイトのクロールを誤ってブロックしていないかをチェックします。
- HTML の `meta` タグ内の `noindex` ルールを確認します。

## サイトのリッチリザルトを有効にする

リッチリザルトを使用すると、デザインされた画像やインタラクティブな機能を検索結果ページに表示して、サイトを目立たせることができます。ページに構造化データを定義してページの内容についての明示的な判断材料を提供すると、Google があなたのページをより正確に理解し、検索結果にリッチリザルトを表示できるようになります。どこから始めたらいかわからない場合は、利用できる機能のギャラリーをご覧ください。



この情報は役に立ちましたか?

フィードバックを送信

## このページの内容

- サイトが Google からどのように認識されるかを確認する
- リンクを確認する
- JavaScript の使い方を確認する
- Google にコンテンツの変更を反映させる
- ページの要素を文字で表現する
- コンテンツの他のバージョンを Google に知らせる
- Google でクロールされるコンテンツを管理する
- サイトのリッチリザルトを有効にする

Google でクロールされるコンテンツを管理する

Google がページを見つけられないようブロックするには、コンテンツへのアクセスをログイン済みのユーザーだけに制限します (ログインページを使用したり、[ページをパスワードで保護](#)したりなど)。

Googlebot がページをクロールできないようにブロックするには、[robots.txt を作成](#)します。

★ robots.txt は、Google にウェブページが表示されないようにするためにメカニズムではありません。Google にウェブページが表示されないようにするには、[noindex](#) robots ルールを使用するか、ページを [△スワードで保護](#)します。

Google によるページのインデックス登録をブロックしながらクロールを許可するには、[noindex](#) タグを追加します。

★ 複数のクロールルールやインデックスルールを併用すると、一部のルールがその他のルールの妨げとなる可能性があります。このようなルールを適切に設定する方法については、[インデックス登録や表示のルールと、クロールの組み合わせ](#)をご覧ください。

Google 検索に表示されないコンテンツを表示させたい場合は、次の手順に沿って対応します。

★ URL 検査ツールを使用して、Googlebot が問題のページにアクセスできるかどうかを確認します。

★ robots.txt ファイルをテストして、Googlebot によるサイトのクロールを誤ってブロックしていないかをチェックします。

★ HTML の `meta` タグ内の `noindex` ルールを確認します。

Google 検索に表示されない限り、このページのコンテンツはクリエイティブ・コモンズの表示 4.0 ライセンスにより使用許諾されます。詳しくは、[Google Developers サイト](#) のポリシーをご覧ください。Java は Oracle および関連会社の登録商標です。

最終更新日 2025-08-04 UTC。



LinkedIn

LinkedIn でつながる



動画を見る



ブログ RSS フィードに登録する



ポッドキャスト Google 検索オフレコを聴く



X (Twitter) でつながる

サポートを利用する

ヘルプ フォーラムに移動

オフィスアワーに質問を投稿する

スパム、フィッシング、マルウェアを報告する

その他のサポートリソース

リソース

SEO が必要なケース

SEO スターター ガイド

検索システムのステータス

Search Console のドキュメント

事例紹介

ツール

Search Console

リッチリザルト テスト

PageSpeed Insights

AMP テスト

Google for Developers

Android

Chrome

Firebase

Google Cloud Platform

Google AI

すべてのプロダクト

利用規約 | プライバシー

日本語